

令和5年度 指定管理者年度評価シート

1 公の施設の基本情報

施設名称	千葉市蘇我スポーツ公園スケートパーク等
条例上の設置目的	都市公園法に基づく都市公園施設
ビジョン (施設の目的・目指すべき方向性)	・市におけるスポーツ・レクリエーションの振興を図り、市民の健康・体力づくりに寄与するとともに、地域コミュニティとしての交流機能を発揮するための拠点となる施設を目指す。 ・千葉市蘇我スポーツ公園全体が防災拠点として位置づけられていることから、当該公園内の他施設とともに災害時の防災拠点となる施設を目指す。
ミッション (施設の社会的使命や役割)	①市民の誰もが、日常的に利用でき、それぞれの目的に応じたスポーツを楽しめる場を提供する。 ②日頃、スポーツ活動の機会に恵まれない市民やスポーツ初心者、レベルアップを志向する市民に対して、各種スポーツ教室等の場を提供する。 ③地域や区のスポーツ大会やイベントの開催場所を提供する。 ④本施設は自衛隊の待機・駐屯スペースを予定していることから、その機能を発揮できるよう管理を実施するとともに、協力体制を構築する。
制度導入により見込まれる効果	本施設では、指定管理者制度導入により、公の施設の管理に民間のノウハウを活用しつつ、本施設の提供する「市民サービスの向上」による利用者の満足度を向上し、「管理経費の縮減」による財政負担の軽減等の効果を見込んでいます。
成果指標※	① 利用者数 ② —
数値目標※	① 9,500人以上/年 ② —
所管課	都市局公園緑地部公園管理課

※ 成果指標及び数値目標は、選定時に設定したものである。

2 指定管理者の基本情報

指定管理者名	SSP UNITED
構成団体 (共同事業体の場合)	株式会社千葉マリスタジアム ジェフユナイテッド株式会社 日本メックス株式会社 日本体育施設株式会社
主たる事業所の所在地 (代表団体)	千葉市美浜区高浜4丁目12番2号
指定期間	令和4年4月1日～令和7年3月31日(3年)
選定方法	非公募
非公募理由	—
管理運営費の財源	指定管理料及び利用料金収入

3 管理運営の成果・実績

(1) 成果指標に係る数値目標の達成状況

成果指標	数値目標※	令和5年度実績	達成率※
利用者数	10,000人(9,500人)以上/年	12,274人	122.7%(129.2%)

※ 数値目標は選定時に設定した数値であり、市設定の数値を上回る目標を指定管理者が設定している場合、市設定の数値は括弧書きで表している。

(2) その他利用状況を示す指標

指 標	令和5年度実績

4 収支状況

(1) 必須業務収支状況

ア 収入

(単位：千円)

費 目		令和5年度	【参考】 令和4年度	計画実績差異・要因分析	
				差異	主な要因
指定管理料	実績	15,000	15,000	実績－計画	0
	計画	15,000	15,000	計画－提案	0
	提案	15,000	15,000		
利用料金収入	実績	11,327	10,180	実績－計画	1,925
	計画	9,402	9,402	計画－提案	0
	提案	9,402	9,402		
その他収入	実績			実績－計画	0
	計画			計画－提案	0
	提案				
合計	実績	26,327	25,180	実績－計画	1,925
	計画	24,402	24,402	計画－提案	0
	提案	24,402	24,402		

イ 支出

(単位：千円)

費 目		令和5年度	【参考】 令和4年度	計画実績差異・要因分析	
				差異	主な要因
人件費	実績	4,980	4,835	実績－計画	455
	計画	4,525	4,525	計画－提案	0
	提案	4,525	4,525		
事務費	実績	2,129	2,459	実績－計画	△ 220
	計画	2,349	2,349	計画－提案	0
	提案	2,349	2,349		
管理費	実績	10,281	9,578	実績－計画	△ 276
	計画	10,557	10,557	計画－提案	0
	提案	10,557	10,557		
委託費	実績	6,971	6,971	実績－計画	0
	計画	6,971	6,971	計画－提案	0
	提案	6,971	6,971		
その他事業費	実績			実績－計画	0
	計画			計画－提案	0
	提案				
間接費	実績			実績－計画	0
	計画			計画－提案	0
	提案				
合計	実績	24,361	23,843	実績－計画	△ 41
	計画	24,402	24,402	計画－提案	0
	提案	24,402	24,402		

※「計画」とは、事業年度ごとの事業計画書で定めた計画額を示す。

「提案」とは、選定時の提案書、事業計画書で指定管理者が提案した見積額を示す。

間接費の配賦基準・算定根拠

--

(2) 自主事業収支状況

ア 収入

(単位：千円)

費 目	令和5年度	【参考】 令和4年度
自主事業収入	実績 247	182
その他収入	実績	
合計	実績 247	182

イ 支出

(単位：千円)

費 目	令和5年度	【参考】 令和4年度
人件費	実績	0
事務費	実績	
管理費	実績	
委託費	実績	
使用料	実績 176	112
事業費	実績 545	545
利用料金	実績	
その他事業費	実績	
間接費	実績	
合計	実績 721	657

間接費の配賦基準・算定根拠

--

(3) 収支状況

(単位：千円)

	令和5年度	【参考】 令和4年度
必須業務	収入合計	26,327
	支出合計	23,843
	収 支	1,966
自主事業	収入合計	247
	支出合計	721
	収 支	△ 474
総収入		26,574
総支出		25,082
収 支		1,492
利益の還元額		なし
利益還元の内容		公園全体で利益還元を算出するため還元なし。(別紙「利益還元計算シート」参照)

5 管理運営状況の評価

(1) 管理運営による成果・実績(成果指標の目標達成状況)

評価項目	市の評価	特記事項
施設利用者10,000人(9,500人)/年の達成	A	12,274人(122.7%(129.2%))

【評価の内容】※数値はいずれも原則であり、特殊な事情がある場合は当該事情も含め、総合的に判断する。

A：成果指標が市設定の数値目標の120%以上(ただし、指定管理者設定の目標に達していない場合はBとする。)

B：成果指標が市設定の数値目標の105%以上120%未満(ただし、指定管理者設定の目標に達していない場合はCとする。)

C：成果指標が市設定の数値目標の85%以上105%未満

D：成果指標が市設定の数値目標の60%以上85%未満

E：成果指標が市設定の数値目標の60%未満

(2) 市の施設管理経費縮減への寄与

評価項目	市の評価	特記事項
市の指定管理料支出の削減	C	提案額と同額

【評価の内容】※数値はいずれも原則であり、特殊な事情がある場合は当該事情も含め、総合的に判断する。

- A：選定時の提案額から10%以上の削減
 B：選定時の提案額から5%以上10%未満の削減
 C：選定時の提案額と同額又は5%未満の削減
 (D・E：選定時の提案額を超える支出を行うことはないため、該当なし)
 -：対象外(市の指定管理料支出がない。)

(3) 管理運営の履行状況

評価項目	自己評価	市の評価	特記事項
1 市民の平等利用の確保・施設の適正管理			
市民の平等利用の確保	C	C	【S】大会やイベント終了時には無料開放を行うなど市民利用への配慮を行った。また定期的に巡回するなど緊急事態発生に備えたリスク管理にも努めた。
関係法令等の遵守			
リスク管理・緊急時対応			
2 施設管理能力			
(1) 人的組織体制の充実	B	C	【S】管理事務所の常駐体制を維持するとともに、競技経験があるスタッフを継続雇用し、競技者目線のニーズにも対応できる体制を整えた。
管理運営の執行体制			
必要な専門職員の配置			
従業員の能力向上			
(2) 施設の維持管理業務	B	C	【S】芝の活着が進まず、養生していた区域について、ティフトン芝のポット苗の植え付けを行い適切に管理することで、一般開放に至った。
施設の保守管理			
設備・備品の管理・清掃・警備等			
3 施設の効用の発揮			
(1) 幅広い施設利用の確保	B	C	【S】施設周知のためジェフユナイテッド市原・千葉の機関紙で告知を行うとともに近隣小中学校へチラシ配布した。また利用者ニーズに応じて8月より小中学生のナイター営業を開始した。なお適切な手続きにより減免利用を行った。
開館時間・休館日			
利用料金設定・減免			
利用促進の方策			
(2) 利用者サービスの充実	C	C	
利用者への支援			
利用者意見聴取・自己モニタリング			
(3) 施設における事業の実施	B	C	【S】誰もが気軽に楽しめるようSSC体験会を毎月実施を継続。7月と11月にはインラインスケートのスラロームデモを行い関心を高めた。またAJSA関東アマ大会の継続開催を誘致し施設の認知と利用促進に務めた。
施設の事業の効果的な実施			
自主事業の効果的な実施			
4 その他			
市内業者の育成	B	C	【市】ナイター営業を実施。付き添いを条件に小中学生や未就学児のナイター利用も可能とした。監視カメラと放送設備を設置し、利用者へのマナー等啓発や注意喚起に活用している。
市内雇用への配慮			
障害者雇用の確保			
施設職員の雇用の安定化への配慮			
大規模災害時の対応			
特別提案			

【評価の内容】

- A：管理運営の基準・事業計画書等に定める水準を上回る、特に優れた管理運営が行われていた。
 B：管理運営の基準・事業計画書等に定める水準を上回るなど、優れた管理運営が行われていた。
 C：概ね管理運営の基準・事業計画書等に定める水準どおりに管理運営が行われていた。
 D：一部、管理運営の基準・事業計画書等に定める水準を満たしておらず、改善の余地がある管理運営が行われていた。
 E：管理運営の基準・事業計画書等に定める水準を満たしておらず、速やかな改善が求められる管理運営が行われていた。

(4) 都市局指定管理者選定評価委員会意見を踏まえた対応

意見の内容	意見対象年度	対応・改善の内容
スケートボードの流行が去った後でも、施設として長く使用されるような工夫をお願いしたい。	令和4年度	様々なストリートスポーツを楽しむSSC体験会をベースにインラインスケートのスラロームデモを開催するとともに次年度に向けてコミュニティの場や賑わいづくりのイベントや飲食販売の検討を行っている。
利用者のマナーづくりは努力が実を結んでおり、現在の良い状態が継続するように努められたい。	令和4年度	マナー啓発のため、SSPメルマガにて定期的に発信を行った。また利用者だけでなく施設職員も含めたマナー強化期間を定期的に設ける検討を始めている。

6 利用者ニーズ・満足度等の把握

(1) 指定管理者が行ったアンケート調査

実施内容	調査方法	調査方法：受付で利用者にアンケートを配布 実施期間：①5/27AJSA(100件)、②7/7～31(31件)、③8/1～31(26件)、④9/1～30(50件)、 ⑤10/1～31(26件)、⑥11/19スラロームデモ(20件) 回答者数：253件 質問項目：性別、年齢、住まい、施設認知のきっかけ、サービス要望など
	回答者数	
	質問項目	
	結果	
		【性別】年間を通して70%が男性の利用者。 【年齢】 年齢構成では10代～20代で36.5%、小中学生が42.0%と若年層の利用が多い。 【住まい】 市内在住者が42.3%と多数で、県内(19.4%)を加えると61.6%が県内在住者。 また、大会等の開催により県外からの利用者が38.4%と一定数を占める。 【施設認知のきっかけ】 施設HPが31.9%と高いが、口コミが36.2%、インスタが16.9%となっており、若年層を中心に仲間と楽しむストリートスポーツという特性が見受けられる。ボードエリアのインスタを積極的に活用していきたい。 【その他】 ・利用にあたってのルール説明、スタッフの接客について、74.3%が「とてもわかりやすい」と概ね良好な評価。 ・他施設も等しく利用される傾向があり、他施設と共存していけるよう満足度を維持しつつ運営していきたい。 ・使いやすさが他の施設と比べて、不満が1件見られたが、満足・やや満足が大多数を占め好評いただいている。 ・自由記述では以下の意見が寄せられた。特に「AJSA」開催時のアンケートでは設備に関する要望が多かった。 「ミニランプが欲しい」(27件)、「ダウンレールが短い」(4件)、「バンクが低い」等 「街灯を明るくしてほしい(夕方暗くて危ない)」21件、「日陰(日除け)がほしい」9件 「ワゴンなどでコーヒーや軽食販売」4件、「駐車場が高い」4件、「駐車場から出るのが大変」3件 「バンクの下にボードが入らない工夫をしてほしい」、 他に、「ゴミ箱・自動販売機の設置」「喫煙所・暴風壁・ミストの設置」「スクールの開催」などのサービス要望があった。

(2) 市・指定管理者に寄せられた主な意見・苦情と対応

主な意見・苦情	指定管理者の対応
バンクの下にボードが入らない工夫をしてほしい	デッキが中に入らないようゴム状の板を設置して対応した。
小石があり危険	適宜清掃を行っているが、重点点検項目に設定し頻度を増やした。
日陰(日除け)がほしい	状況に合わせて、施設内および周辺にテントを設置して対応した。
街灯を明るくしてほしい(夕方暗くて危ない)	施設内の照明の照度UPを検討したが実施には至らず。夕方暗い場合はナイター用仮設照明の営業時間内の設置も検討する。
ワゴンなどでコーヒーや軽食販売してほしい	次年度よりイベント時に公園内にキッチンカー配置を計画。

7 総括

(1) 指定管理者による自己評価

総括 評価	B	所見	本年も大きな事故や利用者トラブルなどもなく運営できたと考えている。利用者数は目標の10,000人をクリアし達成率122.7%であった。しかしながら新規施設の特需期間の経過とともに利用者数が1,000名を下回る月も出始めているため、利用者の意見等々を反映しイベントの開催や交渉中のスクール事業などを積極的に検討していく。 また、利用者マナーの良い施設を目指しているため、利用者・職員ともにマナー向上を啓発する期間を定期的に設けるなど、現状に甘えることなく利用促進や稼働率向上に努めていく。
----------	---	----	---

(2) 市による評価

総括 評価	C	所見	令和4年度と比べ利用者数は減少したものの、成果目標は達成することができた。ナイター営業を週2日で実施し、小中学生の利用を可能としたほか、体験会の開催や競技会の誘致などを継続的に実施し、利用者数の確保に努めた。設置した監視カメラや放送設備の活用に加えて、受付での掲示や、メルマガ等での発信を積極的に行い利用者のマナーの啓発に努めている。 利用者数を今後も確保していくためにも、スクール事業やフクダ電子ゴルフパークとも連携したコミュニティ広場の設置を検討していただきたい。
----------	---	----	--

【評価の内容】

- A：市が指定管理者に求める水準等を大きく上回る、特に優れた管理運営が行われていた。
- B：市が指定管理者に求める水準等を上回る、優れた管理運営が行われていた。
- C：概ね市が指定管理者に求める水準等に則した、良好な管理運営が行われていた。
- D：管理運営の一部において市が指定管理者に求める水準等に達しておらず、改善の余地のある管理運営が行われていた。
- E：管理運営全般において市が指定管理者に求める水準等に達しておらず、速やかな改善が求められる管理運営が行われていた。

(3) 都市局指定管理者選定評価委員会の意見

(ア) 市が指定管理者に求める水準に即した良好な管理運営が行われている。 (イ) 施設のコンセプトやターゲットとなる利用者層が明確にされており、それを踏まえた運営がされている。今後は、利用者にも周知するよう努められたい。 (ウ) 利用者のマナーについては現状良好なので、継続できるよう啓発に努められたい。
